

大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 物療学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事業運営部門総務グループ

職名・氏名 ^{ソウム}総務グループ長 ^{チヨウ ナガチ}長内 ^{トミコ}富子

電話番号 072-260-0088

（夜間） 072-260-0088

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 物療学園

(2) 大学名

大阪物療大学

(3) 大学の位置

〒593-8328

大阪府堺市西区鳳北町3-33

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成21年10月)		
学長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成23年4月)		
学部長	(カナモリ イサオ) 金森 勇雄 (平成23年4月)		
学科長等	(コミズ ミツル) 小水 満 (平成23年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 診療放射線技術 学科 学士 (診療放射線学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	80人 (—) [—]	—人 (—) [—]	80人 (—) [—]	—人 (—) [—]	1.05倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	170 (—) [—]	— (—) [—]	252 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	168 (—) [—]	— (—) [—]	249 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	96 (—) [—]	— (—) [—]	100 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [—]	— (—) [—]	85 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	—		—		1.05		1.06			

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—]	[—]	[—]	[—]	[84]	[—]	[85]	[—]	
2年次	/		[—]	[—]	[81]	[—]	[—]	[—]	
3年次			/		[—]	[—]	[—]	[—]	
4年次	/				[—]	[—]	[—]	[—]	
計			[—]		[—]		[81]		

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	84 人	3 人	平成23年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情1名 除籍2名	3.6 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	85 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
合 計	169 人	3 人					1.8 %

2 授業科目の概要

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教育 科目	基礎ゼミナール	1前	2			2	1	1	1	0	オムニバス
	基礎物理	1前	2			1					
	基礎数学	1前	2			1					
	基礎化学	1前		2							兼1
	基礎生物	1後		2							兼1
	数学演習	1後		1							兼1
	自然科学演習	1後		1							兼1
	情報科学	1前	2			1					
	情報科学演習	1前	1			1				1	
	論理と記述演習	1後		1							兼1
	自然環境システム論	1後		2							兼1
	プログラミング演習	2前		1							兼1 履修希望者がいなかったため未開講
	研究法入門	3前・後	1			1					
	生命と倫理	1前	2			1				1	
	健康の科学	1前		2							兼1
	地球と環境	1前		2							兼1
	心理と行動	2前		2							兼1
	宗教と民族	2前		2		1					
	文化の比較	2後		2		1					
	地域と福祉	3前		2			1				
	中国の文化	3後		2					1		
	表現法入門	1後	1						1		
	コミュニケーション演習	2後		1				1			
プレゼンテーション演習	3前・後		1							兼1	
英語Ⅰ(基礎)	1前	2			1					兼1	
英語Ⅲ(実践)	1後	2			1					兼1	
英語Ⅱ(応用)	3後		2		1						
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅱ(植物性功能に関わる系)	1後	2								兼1
	解剖学Ⅰ(動物性功能に関わる系)	1後	2								兼1
	生理学・生化学	1後	2			1					
	病理学	2前		2							兼1
	社会医学	3前		2							兼1
	形態機能学実習	2前	1			1	1	1		1	
	放射線医学概論	2前	2			1					
	一般内科学	2後		2							兼1
	臨床病態学概論	2後		2							兼1
	患者看護論	2前		1							兼1
	救命救急医療論	3前		2							兼6
	リハビリテーション概論	3前		1		1	1				オムニバス
	医用物理学	2前	2			1					
	医用工学Ⅰ(電気工学の基礎)	1後	2			1					
	医用工学Ⅱ(エレクトロニクス)	1後		2		1					
	応用数学	2前		2		1					
	粒子線工学	2後		2		1					
	診療放射線序論	1前	1			1					
	診療放射線物理Ⅰ(基礎)	1後	2			1					
	診療放射線物理Ⅱ(応用)	2前		2		1					
放射化学Ⅰ(基礎)	1後	2								兼1	
放射化学Ⅱ(応用)	2前		2							兼1	
放射線生物学	2後	2			1						
放射線計測学Ⅰ(基礎)	2前	2								兼1	
放射線計測学Ⅱ(応用)	2後		2							兼1	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修希望者がいなかったことによる未開講である。
学生へは、ガイダンスで説明及び、学生一人一人へ時間割を配布し、周知を行っている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積 2,152.00㎡ 借用期間 20年 校舎敷地と別地 (約8km, 自動車約15分)			
	校舎敷地	2,121.09㎡	875.75㎡	0㎡	2,996.84㎡				
	運動場用地	2,152.00㎡	0㎡	0㎡	2,152.00㎡				
	小 計	4,273.09㎡	875.75㎡	0㎡	5,148.84㎡				
	そ の 他	221.29㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	4,494.38㎡	875.75㎡	0㎡	5,370.13㎡				
(2) 校 舎	専 用	4178.88㎡	381.52㎡	1581.77㎡	6142.17	大阪物療専門学校と 共用			
	6142.17	㎡	(0 ㎡)	(0 ㎡)	6142.17		㎡		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	6室	2室	11室	1室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体			
	保健医療学部		21室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	保健医療学部	16,000 [1,000] (15,815 [729])	40 [10] (27 [5])	750 [10] (0 [0])	200 105	5000 4,859	100 102		
	計	16,000 [1,000] (15,815 [729])	40 [10] (27 [5])	750 [10] (0 [0])	200 105	5000 4,859	100 102		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	329.22㎡		50席		20,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	307.56㎡		該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
		共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	31,493千円	5,250千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

4 既設大学等の状況 該当なし

大学の名称	〇〇大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
/										
大学の名称	〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
/										

5 教員組織の状況

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学)	田中 博司(58)	平成23年4月	生命と倫理						
専	教授(学部長)	金森 勇雄(75)	平成23年4月	画像解剖学Ⅰ(X線解剖) 画像解剖学Ⅱ(画像診断) 総合演習(画像検査技術)						
専	教授(学科長)	小水 満(62)	平成23年4月	研究法入門 医用画像情報学 医用画像情報学演習 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像情報技術) 卒業研究						
専	教授	蔭山 勝弘(75)	平成24年4月	放射線生物学 放射線衛生学 放射線安全管理学 卒業研究						
専	教授	青笹 正夫(67)	平成23年4月	基礎物理 基礎医学 医用工学Ⅰ(電気工学の基礎) 医用工学Ⅱ(エレクトロニクス) 応用数学 卒業研究						
専	教授	宇都 文昭(62)	平成25年4月	放射線治療機器学 放射線治療技術の基礎 放射線治療技術各論 臨床実習Ⅲ(核医学・治療技術) 総合演習(核医学・治療技術) 卒業研究						
専	教授	三羽 信比古(62)	平成23年4月	生理学・生化学 がん医療科学 がん制御科学 特論 卒業研究						
専	教授	坂本 豪信(61)	平成23年4月	情報科学 情報科学演習 医用物理学 粒子線工学 画像診断機器学 卒業研究						
専	教授	小川 利政(61)	平成23年4月	基礎ゼミナール※ X線撮影技術学Ⅱ(応用技術) 臨床実習Ⅰ(X線技術) 画像読影論 卒業研究						

専	教授	橋本 勉 (60)	平成25年4月	放射線医学概論 放射線医療マネージメント論 放射線診断学卒業研究						
兼任	講師	橋本 勉 (60)	平成24年4月	放射線医学概論						
専	教授	中島 俊文 (59)	平成25年4月	放射線腫瘍学 放射線衛生学 総合演習(核医学・治療技術) 卒業研究						
専	教授	岩元 新一郎 (52)	平成23年4月	診療放射線序論 診療放射線物理Ⅰ(基礎) 診療放射線物理Ⅱ(応用) 医用画像工学 総合演習(画像情報技術) 卒業研究						
専	教授	谷内 幸喜 (48)	平成24年4月	基礎ゼミナール※ 形態機能学実習 リハビリテーション概論 医療リスクマネージメント論 障害者・高齢者ケア論						
兼任	講師	谷内 幸喜 (48)	平成23年4月	基礎ゼミナール※						
専	教授	山口 功 (46)	平成23年4月	診療画像技術序論 X線CT技術学 画像検査技術学Ⅰ(MR検査) 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像検査技術) 卒業研究						
専	教授	加藤 久典 (46)	平成23年4月	宗教と民族文化の比較 英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)						
専	准教授	小縣 裕二 (45)	平成23年4月	診療X線機器学Ⅰ(X線発生装置) 診療画像技術学実習Ⅰ(基本技術) 診療画像技術学実習Ⅱ(応用技術) 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像検査技術)						
専	准教授	高井 逸史 (45)	平成24年4月	基礎ゼミナール※ 地域と福祉 コミュニケーション演習 形態機能学実習 リハビリテーション概論						
兼任	講師	高井 逸史 (45)	平成23年4月	基礎ゼミナール※						

専	講師	山田 敦子 (55)	平成23年9月	表現法入門 診療画像技術 学実習Ⅰ(基本 技術) 診療画像技術 学実習Ⅱ(応用 技術) 臨床実習Ⅰ(X 線技術) 総合演習(診療 X線技術)						
専	講師	李 強 (54)	平成23年4月	基礎ゼミナ ール※ 中国の文化 形態機能学実 習						
専	講師	武下 正憲 (52)	平成24年4月	診療画像技術 学実習Ⅰ(基本 実習) 診療画像技術 学実習Ⅱ(応用 実習) 臨床実習Ⅰ(X 線技術) 臨床実習Ⅱ(画 像技術) 総合演習(診療 X線技術)						
専	講師	竹中 賢一 (43)	平成25年4月	核医学診断機 器学 核医学検査技 術の基礎 臨床実習Ⅲ(核 医学・治療技 術) 総合演習(核医 学・治療技術)						
専	助教	西浦 素子 (37)	平成23年4月	基礎ゼミナ ール※ 診療画像技術 学実習Ⅰ(基本 技術) 診療画像技術 学実習Ⅱ(応用 技術) 臨床実習Ⅰ(X 線技術) 臨床実習Ⅱ(画 像技術)						
兼任	講師	俣野 彰三 (79)	平成23年4月	基礎生物 解剖学Ⅰ(動物 性機能に関わ る系) 解剖学Ⅱ(植物 性機能に関わ る系)						
兼任	講師	大野 尚史 (39)	平成23年4月	数学演習 自然科学演習						契約しなかった
兼任	講師	木村 捷二郎 (69)	平成23年4月	基礎化学 放射化学Ⅰ(基 礎) 放射化学Ⅱ(応 用) 放射性薬品学						
兼任	講師	横井 光治 (37)	平成23年9月	論理と記述演 習						
兼任	講師	小林 正雄 (67)	平成23年4月	地球と環境 自然環境シス テム論						
兼任	講師	村治 雄文 (47)	平成24年9月	プログラミング 演習						
兼任	講師	新宅 幸憲 (59)	平成23年4月	健康の科学						
兼任	講師	池本 明弘 (48)	平成24年4月	心理と行動						
兼任	講師	藤村 一郎 (40)	平成25年4月	プレゼンテー ション演習 救命救急医療 論※						
兼任	講師	池田 涼子 (60)	平成23年4月	英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用)						

兼任	講師	湯 久浩 (47)	平成24年4月	病理学 臨床病態学概論								
兼任	講師	錢田 晃一 (51)	平成25年4月	社会医学								
兼任	講師	守口 篤 (51)	平成24年4月	一般内科学								契約しなかった
兼任	講師	堀内 由伊子 (60)	平成24年4月	患者看護論								
兼任	講師	松岡 哲也 (51)	平成25年4月	救命救急医療 論※								
兼任	講師	坂下 恵治 (54)	平成25年4月	救命救急医療 論※								
兼任	講師	相良 健司 (43)	平成25年4月	救命救急医療 論※								
兼任	講師	西池 成章 (42)	平成25年4月	救命救急医療 論※								
兼任	講師	二藤 真理子 (39)	平成25年4月	救命救急医療 論※								
兼任	講師	安田 憲幸 (64)	平成24年4月	放射線計測学 I (基礎) 放射線計測学 II (応用)								
兼任	講師	畑川 政勝 (66)	平成24年4月	診療X線機器学 II (X線システム) 医用画像写真 学								
兼任	講師	牧島 展海 (55)	平成25年9月	画像検査技術 学 II (超音波・ 眼底)								
兼任	講師	岩崎 光博 (43)	平成25年4月	診療画像技術 学実習 II (応用 技術)								
兼任	講師	遠藤 忠保 (72)	平成25年4月	核医学検査技 術各論								
兼任	講師	小野 公二 (60)	平成25年4月	放射線腫瘍学								
兼任	講師	福西 康修 (49)	平成25年9月	医療情報学								
兼任	講師	井澤 一雄 (62)	平成25年4月	放射線関係法 規								

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
15	2	4	1	22	3	12	2	3	1	18	0	
11	1	1	1	14	0	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成23年度)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置の趣旨に基づき、その目的に即して計画どおりに履行している。 教育の質の向上に向けて組織を整備し、改善を行い、学園運営委員会、教授会、各種委員会を定期的、また随時必要に応じて開催し、常に教育の水準を高めるよう努力している。	
認 可 時 (平成23年度)	・運動場及び体育館が別置にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	運動場への送迎用マイクロバスを準備し、学内のスポーツフェスティバルや学生の課外活動等に利用しやすいようにしている。また、定期的に学生アンケート調査を実施し学生ニーズに対応するよう配慮し改善を図っている。	
認 可 時 (平成23年度)	・教員の年齢構成が高いため教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画等、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。 (とくに後任の教員の採用にあたっては、教授及び准教授も含めて公募を行うことが望ましい。)		必要時期に留意事項を吟味し、実施する予定である。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年5月)	該 当 な し		

7 その他全般的事項

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成23年度4月から設置(別紙参照)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

毎月第2木曜日に開催

c 委員会の審議事項等

- 1)FD推進のための企画及び実施に関すること
- 2)FDに関する報告書等の作成に関すること
- 3)FDに関する調査・研究に関すること
- 4)教育内容及び教育環境の改善に関すること
- 5)教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること
- 6)学生による授業評価の実施・結果報告と授業改善に関すること
- 7)教育職員の資質向上を図るための組織的な研修に関すること
- 8)その他、FDの推進に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学内FD研修会
- ・ 授業アンケート

b 実施方法

①新入教員の研修会

②選抜された教員数名が共通テーマに沿って10分程度の発表を行い、その後全体でディスカッションを行う。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 学内FD研修会

H23. 4月及び9月	新入教員研修	(該当新入教員全員出席)
H23. 6月	「ハラスメント」	(全員出席)
H24年3月21日実施テーマ	「授業中騒がしい学生の対応」	(全員出席)
H23年12月23日実施テーマ	「私が授業で最も重要視すること～教育理念とその実践」	(全員出席)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ディスカッションで得た改善点を各教員が自分の授業に取り入れている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有：前期と後期の年2回実施

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員：アンケート結果を見て改善案を出している。

学生：質問や疑問の対応内容を掲示しフィードバックを実施している。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・設置の趣旨、目的の達成に向けた教育・研究を行っていく為に、大学組織全体で継続的に取り組みを行っている。専門性を活かした人材育成により地域医療の向上に寄与すること及び地域貢献のための教育・研究拠点として知的資源を還元するために、定期的及び臨時で開催する学園運営委員会・教授会・FD委員会・教務委員会など大学の最高決定機関及び学部並びに各委員会が連携して共通認識のもとで、教育研究の水準向上に努めている。その結果、開学年度の平成23年度は、定員を満たす入学生を確保し、設置計画のとおり教員を組織し授業科目を行い、本学の教育研究活動の質的向上に向けて検証し改善を図り、大学としての責任を全うするとともに良い大学づくりを実践している。

② 自己点検・評価報告書

- ・教育研究水準の向上を図る為に自己点検評価は、全学的に取り組むことを基本としている。既に大学評価委員会を設置し、開催している。(昨年度は4回実施：H23・6/29、9/15、12/14、H24・1/19) また、委員会において自己点検評価報告書の作成の意味を教職員に十分に認識させ、確認を行い、今年度作成に向けての業務分担を行い、次年度6月発刊に向け準備を整えている。(H25年1月頃より評価委員会主導で報告書作成を行い、H25年6月を公表予定としている。)

a 公表(予定)時期

- ・平成25年6月 公表予定

b 公表方法

- ・本学の教育研究・地域貢献、事業計画を本学ホームページで公開している。また、本学の現状及び今後の課題について報告書の発刊及び本学ホームページでの公開を予定している。これにより社会への説明責任を果たすと同時に大学内外から種々のご意見を頂き、改善・改革の取り組みを推進したいと思っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・自己点検・評価報告書の第3回発刊年度(H29年6月)を予定している。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成 23 年 6 月 8 日)